



シルバーだより

かすみがうら

令和3年1月15日発行 公益社団法人かすみがうら市シルバー人材センター
編集 広報委員会 かすみがうら市穴倉5462 TEL 029-898-3130

第32号

会員総数256名 男性176名 女性80名 (令和2年11月末日現在)

明けましておめでとうございます



鶴沼に飛来する希少な冬鳥のミコアイサ(通称:パンダガモ)

市内の皆様へ

シルバーだよりの
全戸配布について

「シルバーだよりかすみがうら」は会員向け情報誌として年二回発行しております。

今回、市のご協力を得まして、かすみがうら市の全家庭に配布をさせていただくことが出来ました。是非ご一読いただければ幸いに存じます。

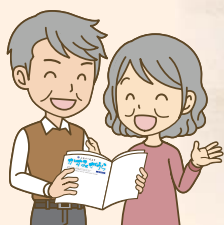
当センターの会員は市内にお住まいの六十歳以上の方々に、「生涯現役社会参加」を目指し、健康と自らの生き甲斐として、臨時的なものから短時間・短期間の就業を中心に、現在約二百五十名の方々が会員登録をされ、就業しております。

仕事は多種多様に亘り、今迄の経験や知識・技能を生かすことができます。

また親睦会組織の「友の会」による旅行を年二回行うほか、新年会を実施して会員相互の交流も図っております。

今後も、当センターは積極的に地域社会に貢献して参ります。

(広報委員会)



新年のご挨拶



理事長
飯塚 貞夫

新年明けましておめでとうござい
ます。会員の皆様にはご家族お揃いで良
い新年をお迎えのこととお喜び申し上
げます。

ご承知の通り、昨年六月に「かすみ
がうらウエルネスプラザ」に事務所を
移転し、気持ち新たに業務運営を行っ
ております。

さて会員の皆様方はじめ関係者の皆
様方には、日頃よりシルバー人材セン
ターの各職群で多大なるご協力をいた
だいております。心から感謝申し上げ
ます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に
よる防止対策として、全国的に各イベ
ントや集会等が中止され、皆様も三密
(密閉・密集・密接)を徹底とした新
しい生活様式により感染防止に努めら
れていることと存じます。一刻も早い
収束を願っております。

幸い会員の皆様には健康で日々就業
されておりますことに感謝しておりま
す。センターとしても県シ連や市のご
指導のもと、運営の安定化をより一層
図るため、就業の内容は多種多様化し

ておりますが安全第一に就業率の向上
と「生涯現役社会」の実現を目標とし
て、役職員一同積極的に取り組んで参
ります。

会員の皆様には、自主・自立・共働
・共助の理念のもと、地域社会に期待
されるセンターとして、これからもご
協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり会員の皆様のご健勝と
ご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶
いたします。



かすみがうら市長
坪井 透

新年明けましておめでとうございま
す。

希望に満ちた輝かしい新春をお迎え
のこと、心からお喜び申し上げます。

日頃より、皆様方におかれましては、
高齢者の雇用安定と地域社会の活性化
へご貢献いただき、さらに市政に対し
ましては、深いご理解と温かいご支援
・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げ
ます。

また、新型コロナウイルス感染症の
収束の見通しが立たない中、感染予防
対策と社会経済活動の両立に向け、日
々ご理解とご協力をいただいております
ことに、心から感謝申し上げます次第

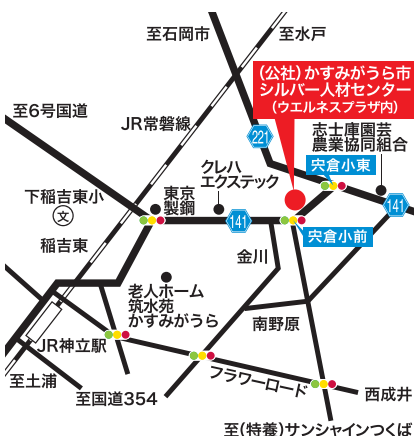
でございます。市では、新型コロナウ
イルスへの警戒を継続しつつ、感染症
対策をはじめ、生活支援や経済対策等
に全力で取り組んで参ります。

さて、昨年六月に「かすみがうらウ
エルネスプラザ」がオープンし、シル
バー人材センターも同施設へ移転とな
りました。

本市ではこの施設を中心に、健康長
寿のまちづくりを推進したいと考えて
おりますが、少子高齢化が進む今日に
おいて、皆様方のように、生涯現役と
して多様な形で社会参加することが求
められております。このような中、活
力ある高齢社会を支える地域の中核的
組織として、シルバー人材センターが
担う役割は一層重要なものであります。

本市といたしましても、皆様方が豊
かな知恵や能力を生かし、幅広く社会
に参加、貢献していただけるよう、今
後ともシルバー人材センターの運営を
支援して参りたいと考えております。

結びに、シルバー人材センターのま
すますのご発展と、皆様のご健勝・ご
多幸を心からご祈念申し上げますと
もに、今後とも市政全般に対して変わ
らぬご支援とご協力をお願い申し上げ
まして、新年の挨拶いたします。



公益社団法人かすみがうら市シルバー人材センターとは

国・都道府県・市町村からの支援を受けて運営している公益社団法人で営利目的としていません

仕事をしたい人は会員登録し仕事の提供を受けて就業します

入会希望者

会員登録

会員

仕事の提供

就業

仕事依頼者
(個人・企業・公共団体等)

仕事の依頼

仕事の受注

公益社団法人
かすみがうら市
シルバー人材センター

市長と市議会議長に 要望書提出



人生百年時代におけるシルバー

人材センターの決意と支援の要望

茨城県シルバー人材センター連合会を主幹とした県内四十二市町村の統一要望書を昨年九月二十九日にかすみがうら市長と市議会議長に提出いたしました。

私たちの人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実・健康の保持促進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに大きく貢献しています。



しかし各地域のシルバー人材センターの多くは社会情勢の変動等により、財政的に不安定で、運営面の困難に陥りがちです。そのため、国・市からの補助金の確保が重要となりますので、今般の要望を行いました。

また、事業確保の観点から介護予防や支援などの事業を行えることを始め、公共からの事業発注についても要望いたしました。

以上のような要望について行政など

に一層のご理解を賜り、今後のかすみがうらシルバー人材センターの安定した運営に取り組んで参ります。

(飯塚記)

冬季の事故防止の 徹底をお願いします



安全衛生委員長

菅澤信義



安全衛生委員会では、会員の皆様の安全就業を推進するために諸活動を行っています。その一つとして過日、「冬季の事故防止について」という文書を会員の皆様に配布いたしました。安全就業のより一層の徹底を皆様と図るため、再度左記のとおり呼びかけを行わせていただきます。

一、日が短くなつてきておりますので、就業現場との往復時の交通事故に注意しましょう。

一、日没時の早めの点灯を心がけましょう。

一、路面の凍結や、積雪によるスリップに注意しましょう。

一、橋の上の路面は凍結しやすいので特に注意しましょう。

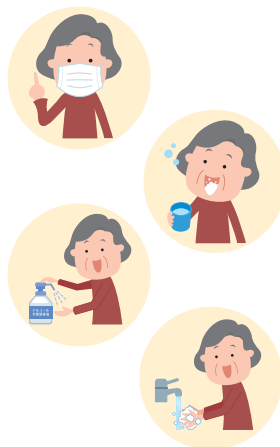
一、運転中の携帯電話の使用は禁止です。

一、夜間歩行時は夜光反射材を着用し

ましょう。

一、冬季の健康維持管理のため、防寒等による気温の変化に十分注意しましょう。

一、新型コロナウイルス対策のため、三密（密集・密閉・密接）を避け、マスク・うがい・手洗いの徹底をしましょう。



安全パトロールを実施



安全衛生委員会では、令和二年十一月十日、霞ヶ浦・千代田地区の四箇所の剪定・草刈り現場にて安全パトロールを行いました。当日は委員会のメンバーと事務局職員で就業現場を訪問し、会員さんと安全就業について意見交換を行いました。

剪定作業は脚立を使用した高所作業となることから、脚立は確実に設置する、無理な体勢で作業はしない等、脚立使用の基本を話し合いました。



草刈り作業も刈払機やバロネス機の刃物を使

いつでも 働く喜び 無事故から

シルバー人材センター安全就業スローガン。スローガンは県シ連で募集した作品です。
令和2年度から3年間統一のスローガンです。

った危険な作業であることを再認識し、周りの状況を良く確認してから作業に入る、小石等の飛散に注意する、刈刃を高く持ち上げない等を確認し合いました。

綺麗に仕上げた作業も事故を起こしては何もありません。安全作業を行うことの大切さを再確認いたしました。

発注者の声



雪ふれあいの里公園

所長 川崎 慎二

(敬称略)

(茨城県南造園土木協業組合)

昭和四十年代に採掘が行われていた採石場の跡地を利用、整備した自然公園で、開園二十三年を迎えます。昨今のハイキングブームで、中高年の方や家族連れを中心に年間一万人以上の来訪者があり、ネイチャーセンターは休憩や自然学習等の拠点施設としてご利用いただいています。

シルバー人材センターの方には、週に一回トイレや山小屋の清掃業務をお願いしています。隅々までたいへん丁寧なお仕事をしていただいております。来訪者の方々も気持ちよくご利用くださっています。公園施設の印象は、トイレの清潔さいかに決まってしまうようなところがありますね。見た目どんなにきれいな公園でも、トイレが汚れていては楽しい気分が減退してしまいます。

現在は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、不特定多数の方が利用されるトイレ等の消毒も、清掃業務に合わせさせていただいています。今後、来訪者の快適利用のため、引き続きよろしく願いたします。



会員の広場



「シルバー人材センター」に登録して

服部 栄一

(敬称略)

昨年八月初め梅雨明け間もない本日に暑い時期私の「シルバー人材センター」キャリアが始まりました。小松崎

班長、樽見さんは集落の先輩で「シルバーに來ないか」と誘われたのです。初めての作業は刈払い機による草刈り、普段から草刈り作業はしていましたが一日中ずっと続けるというのは経験がないので不安でした。全身汗びっしょりになりながらも先輩方について行くことができ、昨夏の暑さのなか熱中症にもならず頑張れたのも先輩方のご指導のお陰と感謝しています。

私はちょうど一年前肺にガンが見つかり部分切除しました。手術の後リハビリと思い常に体を動かすことを心掛け山歩きをしたり、ゴルフをしたりと前向きに進んできたつもりです。徐々に体力はついてきたのですが身体には良くても気持ちの張りにはならないのかもしれない。その点「シルバー人材センター」は少なからず他人様のお役に立っていると思える自負があります。作業の合間の取るに足らない会話も私にとっては新鮮なものでした。

我々シルバー世代にとって他人に必要とされる喜びは何ものにも代え難いものだと思います。私にとって「シルバー人材センター」は心のリハビリだと思っています。



あなたの豊かな知識と経験を 社会のために活かしませんか

シルバー人材センター

会員募集中!!

生き甲斐
づくり
応援団

事務分野
文書管理事務
毛筆、筆耕
宛名書き
受付事務など

一般分野
除草・草刈・包装
公園清掃
樹木消毒
屋内外清掃など

技能分野
植木手入れ
大工仕事
障子張り
ペンキ塗りなど

サービス分野
福祉
家事援助など

管理分野
施設管理
駐車場管理

公益社団法人 かすみがうら市 シルバー人材センター

〒300-0121 茨城県かすみがうら市倉倉5462(ウェルネスプラザ内) ☎ 029-898-3130 FAX 029-840-8130

会員活動報告



こんにゃく作り（松延グリーンサービス・穴倉）



乾燥芋作り（お茶屋食品・穴倉）



くわい洗い（山口行雄様・牛渡）



施設管理（わかぐり運動公園・新治）



研磨作業（カスミ研磨工業・牛渡）



バック積下し・目土作業
（かすみがうらゴルフクラブ・田伏）



剪定作業（一般家庭・西野寺）



「茨城県マスコット」ハッスル黄門

理事会報告



令和二年度 第二回理事会

- ・日時 令和二年九月十日（木）
- ・場所 ウエルネスプラザ・研修室
- ・出席者 理事 八名 監事 二名
- （報告事項）
- ・令和二年度七月分事業運営状況の報告について
- ・書面による理事会の報告について
- ・正副理事長並びに常務理事の職務執行状況報告について
- ・令和二年度茨城県最低賃金について（審議事項）
- ・令和二年度市町村要望決議文書の承認について
- ・固定資産の取得並びに収支補正予算（案）について
- ・県シ連アンケート調査について

令和二年度 第三回理事会

- ・日時 令和二年十二月八日（火）
- ・場所 ウエルネスプラザ・研修室
- ・出席者 理事 七名 監事 二名
- （報告事項）
- ・令和二年度十月分事業運営状況の報告について
- ・書面による理事会の報告について
- ・令和三年度予算概算要求等について（審議事項）
- ・令和二年度正味財産補正予算書内訳書（案）について
- ・固定資産の処分について
- ・固定資産の取得並びに収支補正予算

（案）について
かすみがうら市内における空き家管理業務について



第3回理事会の様子

これからの行事予定



〈二月〉

- ・仕事始め
- ・市役所及び県シ連訪問
- ・入会希望者説明会
- ・就業安全祈願

〈三月〉

- ・入会希望者説明会
- ・剪定講習会
- ・職群班リーダー会議
- ・理事会
- ・入会希望者説明会
- ・地区班長会議
- ・安全衛生委員会

令和二年度 友の会事業について



初春の候、会員各位におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。当シルバー人材センター友の会事業運営については、ご指導・ご協力を賜わり深く感謝申し上げます。

昨年二月に発生しました新型コロナウイルスの影響により、行政・各企業等におかれては、国の感染対策の基本方針である、三密等の関係から全ての事業が中止若しくは延期になっております。この様な事を考慮いたしまして、先般の友の会役員会において、会員の健康と安全・安心が第一との考えで、令和二年度の親睦事業は全て中止と決定致しました。そのためすでにお知らせの通り、会員の方々に商品券を配布してご査収をいただいた次第です。

尚、市内の方の中に罹患者が発生しておりますので、ご自身と、ご家族様方は、必ず「手洗」の実施、「マスクの着用」を励行して、感染リスクの高い場所への出入は控え、コロナ禍を避けて、皆様が予防に努め健康を維持して、幸せな新年となりますよう、ご祈念申し上げます。

友の会会長

菱沼恵一



新会員加入状況と 受注件数・就業率状況



新会員加入状況

R2年6月1日～11月30日の入会者	
霞ヶ浦地区	千代田地区
5名	9名

受注件数

（R2年4月～11月末）

1,180件

就業率

（R2年4月～11月末）

71.90%

編集後記

本来なら今号は会員の親睦を兼ねた旅行等で笑顔の写真が載る記事で賑わうのですが、残念ながらコロナ禍で次々と行事が中止され、少し寂しい誌面になりました。

これからは「新しい生活様式」と、何やら明るい未来になる感じがしますが、三密を避ける！対面するな！会話は控える！等と、ホモ・サピエンス人類を祖先に持つ、ヒト本来の寄り添って生きる生活とは反対の暮らしを強いられます。

今年の早い時期に、マスクもファッション化する窮屈なウィズコロナ生活から解放され、太陽コロナをいっぱい浴びた笑顔溢れる「普通の生活様式」に戻ることを望んでやみません。

（広報委員 豊崎記）